

北海道教育大学
附属札幌小学校

2019

学校要覧



〒002-8075 札幌市北区あいの里5条3丁目1番10号
Tel(011)778-0471 Fax(011)778-0640
www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_sap_syo/
E-mail: sap-fusho@s.hokkyodai.ac.jp



共生の文化を創造する学校

目指す
3つの
子どもの姿

探究する子
本物を求めて学び続ける子

共感する子
仲間のよさを感じ、取り入れる子

自分を見つめる子
自分のよさや課題に気付き
未来を志向する子

学校長挨拶

附属札幌小学校 校長 高久 元



本校では「共生の文化を創造する学校」を学校教育目標とし、教育に取り組んでいます。この「共生」には、他者と“共に生きる”という意味にとどまらず、自分とは異なった思い・考えの他者を認め、協働しながら、成長していくことを含んでいます。

学校の授業や活動においては、子どもたちが探究し学びを創造していく過程で、一人一人がじっくりと課題に取り組む場面も必要ですが、仲間との意見交流を通じて、自分とは異なる様々な見方・考え方を認めながら課題を解決していくことも大切です。子どもたちにとって、附属札幌小学校が、このような他者理解を深め、他者のよさを感じとり、より深い意味での共生を築き、自ら学び成長していける場となるよう、教職員が協力し愛情をもって、子どもたちの教育に力を注いでいきたいと考えております。

■私たちが考える附属学校の役割■

1. 義務教育学校として、公立学校と同様に初等普通教育を実施すること
2. 大学の附属校として、学生の教育実習を実施すること
3. 実験・実証学校として大学との研究連携を保ち、附属学校として実践的な立場から、実験・実証を試みること
4. 教育研究校として、教育の理論と実際に関する各分野の実践的研究を試みること
5. サービスセンター校として、教育の理論と実際に関する各分野の実践的研究を試みること

本校のシンボル藤棚

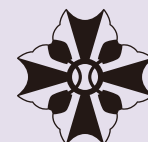
美しさ、気品、たくましさ…本校児童への願いを象徴して

本校の正門を入りますと、その道の左右に藤棚があります。この藤棚は、実に90余年に渡って本校のシンボルとして大切にされ、あいの里移転の際に、旧藻岩校舎より移植されました。

毎年、6月初旬に咲かせる優美な花房と、ふくいくとした気品ある香りは、本校児童像への願いを象徴しています。小さな一つ一つの花が創り出す房としての「美しさ」、垂れ下がった房のもつ「謙虚さ」、そして全体としてもつ「気品」、風雪に耐える藤づるの「たくましさ」…これらの願いは、全校文集「ふじふさ」、通知表「ふじふさの子」、特別支援学級「ふじのめ学級」などの命名に生かされています。



校章について



本校の校章は、明治30年ころに定められたと言われています。武士の兜に付いている鍬形を4組あしらい、全体としては「北」の文字を表しながら、北海道の開拓という遠大な理想を描いています。この校章を真ん中に据えた校旗も昭和9年にできており、附属の伝統と誇りを示しています。

探究する子

本物を求めて
学び続ける子

本校が研究し続けてきた問題解決的な学習を通じて、論理的な思考力、豊かな表現力、確かな理解力を育てていきます。未来を切り開く「探究力」の基礎を附属札幌小学校で育てています。

- 英語は1年生から
- タブレット端末等を活用した授業
- 教科担任制の部分導入
 - ※音楽は全学年専科による授業
 - ※図工は2年生以上専科による授業

共感する子

仲間のよさを感じ、
取り入れる子

自分とは違う他者の見方や考え方を認める力、他者のよさを感じ自分に取り入れる力、それが共感力です。
附属札幌小学校は豊かな人間関係の中で「人を想う力」に溢れた子どもを育てていきます。

- 特別支援(ふじのめ)学級との交流
 - ※朝の交流、給食交流、授業交流
- 留学生、研修生の受け入れ
- 協働的な学習スタイル

自分を 見つめる子

自分のよさや
課題に気づき
未来を志向する子

子どもたちは日々、新しい知や技の習得に立ち向かい、時には喜び、時には悔しがりながら生きる力を獲得していきます。だからこそ私たちは、子どもたちに自分を見つめ、課題に気づき、次の一步を踏み出せるよう勇気付けています。附属札幌小学校は、未来を切り開く「意志」を育てるふるさとです。

- 命と安全を守る授業の実施(全校一斉・年5回)
- 全校文集「ふじふさ」の発刊
- 下校分団会議(年3回)
 - ※日常的に交通マナーなどの自分の行動を見つめる取組



豊かな環境が生み出す学び

本校は、197万人の人口を擁する札幌市街の北東に位置し、石狩市・当別町に隣接する田園地帯にあります。校舎の北側には雄大な石狩川が流れ、周りは緑あふれるあいの里の緑道に囲まれた豊かな自然環境が附属札幌小学校の大きな魅力です。また、北海道教育大学札幌校および附属札幌中学校と同一キャンパス内にあり、大学・中学校と連携し運営、研究交流が可能な環境にあります。日常の学習でも大学生が参画することが数多くあります。

本校児童は、札幌市全域から通学しています。そのためバスなどの公共交通機関を利用して通学している児童が、全校児童の87%(平成30年度)及びます。地下鉄麻生駅・栄町駅、JRあいの里駅と本校の間には、本校児童用通学バスが運行(増便)されており、多くの児童が登下校に利用しています。



茨戸川
校地の裏にある茨戸川ではエビや魚がたくさん捕れます。生活科の学習では探検に出かけます。

附属山

学校の裏にある附属山ではスキーやそり滑りを楽しむことができます。



教育大学札幌校

大学が隣接しており、大学生や大学院生が訪れ、実習等を行います。

開校133年の伝統と新たな伝統～人を育てる～

本校は、今年開校133年を迎えました。3年前に行われた130周年記念式典には、全国より同窓生の方々が集まり、気持ちのこもった式典が執り行われ、感動的な時間を過ごすことができました。同窓生には、北海道だけではなく、日本や世界各地でご活躍されている方々が多数いらっしゃいます。多くの同窓生が、いつも見守り応援してくださっています。

現在、本校では令和2年度より全面実施となる学習指導要領を見据え、教育課程の見直しを図っております。「これからの教育」に向けた新たな枠組みを整備するという大きな変革の時期を迎えています。「子どもたちが生き生きと学ぶ姿」や「未来に生きて働く確かな学力」は、これまで本校の教育が大事にしてきた「伝統」です。そこへ、「新たな伝統」を築くためにも、保護者・子ども・教職員の三者で、よりよい附属札幌小学校の在り方を考えているところです。10年、20年先の未来を見据え、「共生の文化を創造する学校」づくりを理念に、変化の激しい時代を自らの足で確実に歩いていける、人材を育てていきます。

附属札幌小学校の1年

4月

- 入学式
- 土曜参観
- 個人懇談



入学式

小学1年生になった喜びが生涯の思い出として残るよう、紫白幕に囲まれた会場で印象的な式を創り上げます。

運動会

紅白に分かれ、勝利にこだわる熱い気持ちの中で競技を行います。また、保護者の皆さんも加わった親子競技で大いに盛り上がります。



- 前期通知表配付
- 個人懇談
- ロング昼休み終了
- 附属で学ぶ会(～2月)

10月

5月

- ロング昼休み開始(火曜日/10月末まで)
- 集団下校開始(火曜日)
- 事前研究会

リバーサイドウォーキング

豊平川、石狩川の河川敷やあいの里地区の長距離遠足に挑戦します。6年生は南大橋から学校までの22km、1年生はあいの里地区を9km歩きます。一緒に歩く見守り係、給水所係等、多くの保護者の方がボランティアとして参加する健康イベントです。



学藝会

劇と音楽を発表します。仲間と協力して力を発揮する場です。裏方の仕事や、委員会の仕事にも精一杯がんばります。



- 学藝会
- 藤棚コンサート

11月

6月

- リバーサイドウォーキング
- スポーツテスト
- 参観懇談

教育研究大会

全道、全国からおおよそ400名の先生方に参加いただき授業公開や分科会、講演会等を行います。子どもたちと教師の熱の入った探究の姿が見られます。



花唱集会

各学年がじっくりと取り組んできた成果を発表し合います。全校児童、保護者、教員も参加し美しい歌声を響かせます。



- 参観懇談
- ふじのめ学級クリスマス会

12月

7月

- 教育研究大会
- 夏の学校
5年 ニセコ方面
6年 函館方面



夏の学校 5年 ニセコ・6年 函館

5年生は1泊2日で酪農や農業体験、ラフティング等、自然と存分に触れ合う活動を行います。6年生は2泊3日で函館の歴史や文化、産業等を学びます。メインイベントは子ども達だけで市内全域をテーマ別にめぐる自主研修です。普段の学習で身に付けた力を発揮する場です。

- スキー学習(1～3年)
- 授業参観
- 花唱集会

1月

8月

- 教育実習開始
- 運動会



卒業式

思いでいっぱいの附属札幌小学校と6年生のお別れの日です。胸を張った子ども達の晴れ晴れとした表情や凛とした姿を見ると、一人一人の印象的な場面が思い出され、その成長をあらためて実感させられます。感動の1日です。

- 学力テスト(6年)
- 後期通知表配付
- 個人懇談
- 歩くスキー学習(4・5年)

2月

9月

- 参観懇談
- 引き取り訓練

- 学力テスト(1～5年)
- 卒業式

3月

■本校ホームページの紹介■

日常の子どもたちの活動や入学に関する情報は、ホームページからご覧ください。本校の様子が詳しく掲載されています。



附属札幌小学校の1日

附属札幌小学校の学びは、授業時間ではありません。休み時間、清掃時間、給食時間等、授業以外の時間も子どもの成長にとって大切な時間と考えています。

【1年生の一日の流れ】 ※2年生以上は曜日によって6時間目があり、下校時刻が異なります。

登校

8:00～8:40

1・2時間目

8:00～10:25

中休み

10:25～10:45

3・4時間目

10:50～12:25

給食

12:25～13:00

清掃・昼休み

13:00～13:30

5時間目

13:35～14:20

下校

14:45頃



Q & A

Q 札幌市内の小学校とのカリキュラムの違いは？

A 文部科学省が定めた学習指導要領に準じた教育活動を行っています。それに加え、小学校英語や本校ならではの行事等独自のカリキュラムのもと、教育活動を進めています。

Q 年間の学費等はどれくらいかかりますか？

A ご参考までに、令和元年度の1年生の年間費用をお示しします。入学時の制服や学用品等に80,000円程度、教材費や給食費等が年間80,000円程度となっています。これに加え、交通機関を利用する児童は交通費が毎月かかります。なお、入学金はかかりません。

Q 土曜日に授業はありますか？

A 基本的に土曜日に授業はありません。年に数回、行事等で土曜日に登校することがあります。

Q 受検の制限等がありますか？

A 札幌市内に保護者と同居していることや自力で本校まで通学できることを条件とさせていただいております。また、本校の教育活動に対して賛同いただける保護者のお子さんであることも受検資格の一つとなっております。

なお、お子さんの国籍や保護者の方の職業等の如何による受検の制限はございません。

教職員

校長	高久 元	音楽専科	谷坂 俊典
副校長	堀口 基一	養護教諭	折田 侑以
主幹教諭	中村 珠世	栄養教諭	須合 幸司
教務主任	中島 大輔	参事	原 祐二
1年1組	瀧ヶ平 悠史	事務補	奥 幸子
1年2組	黒澤 英靖	校務補	東 あずさ
2年1組	海野 康之	用務員	森野 潔
2年2組	河本 岳哉		
3年1組	千葉 史	特別支援学級(ふじのめ学級)	
3年2組	米川 颯寿	特命教頭	吉呑 正美
4年1組	根岸 良久	小学校主任	山崎 貴博
4年2組	燈 孝裕	小1組(低学年)	小田 有佳里
5年1組	河原 秀樹	小2組(中学年)	八島 奈央
5年2組	西本 有希	小3組(高学年)	平山 一馬
6年1組	高畠 護	校務補	阿部 利子
6年2組	樋渡 剛志		

※この他、給食調理員8名、非常勤講師として、外国人を含む英語担当が3名、園工担当が2名、教室に補助的に入る副担任が通常学級・特別支援学級合わせて11名勤務しています。

沿革

- 明 16 本校の前身、札幌県師範学校が創立、創成小学校を附属とした。
- 明 19 北海道師範学校と附属小学校の創立。
- 明 27 南1条西14丁目到新校舎完成。
- 明 31 北海道師範学校附属小学校と改称。
- 大 3 北海道札幌師範学校附属小学校と改称。
- 大 12 藤棚工事に着手。旧校舎より移植開始。
- 大 14 児童文集「からまつ」第1号発刊。
- 昭 9 徽章・校旗制定。
- 昭 11 校歌制定。
- 昭 18 北海道第一師範学校男子部附属国民学校と改称。
- 昭 22 附属札幌中学校開校式。
- 昭 25 南22条西13丁目到新校舎完成。藤棚、旧校舎より移植。
- 昭 26 北海道学芸大学附属札幌小学校と改称。
- 昭 37 制服規定制定。
- 昭 38 全校文集「ふじのめ」創刊号発刊、現在に至る。
- 昭 40 特別支援学級「ふじのめ学級」設置、入学式を行う。
- 昭 41 北海道教育大学教育学部附属札幌小学校と改称。
- 平 元 あいの里5条3丁目到新校舎完成。入校式。
- 平 15 北海道教育大学附属札幌小学校と改称。
- 平 30 開校132周年

藤棚会

藤棚会は、附属札幌小学校の教育事業充実の助成、並びに教員の研究の後援を目的に、全校的な行事や研究活動の支援などを行っています。多くのご家庭にご協力をいただいております。なお、加入は任意となっております。

【主な活動】

- 教育活動に必要な備品等の購入
- 研究活動への支援
- プロの演奏家を招いて「藤棚コンサート」を開催
- 子育てに関する教育講演会「子育て文化塾」を開催

交通アクセス

